

令和6（2024年）年8月19日

熊本市人権啓発市民協議会会員 啓発担当者様

熊本市人権啓発市民協議会

事務局長 大林 正夫

（公印省略）

令和6年度水俣病現地研修会への参加者募集について（依頼）

平素から、熊本市人権啓発市民協議会の啓発活動に、ご協力いただき心よりお礼申し上げます。

水俣病は、戦後の高度経済成長の中で発生した、日本の公害の象徴的な事件です。この研修では、現地を訪れることで、水俣病の被害者たちが体験した苦しみや、それに対する人権問題への理解を深めます。

私たちが今回の研修で特に焦点を当てるのは、石牟礼道子著『苦海浄土』です。この作品は、水俣病患者とその家族の声を通じて、深い痛みとそれを越えた再生の物語を描き出しています。石牟礼道子が紡いだ言葉は、単なる記録を超え、人間の尊厳とは何か、共に苦しむことの意味とは何かを問いかけてきます。

研修では、現地の歴史考証館や関係者を訪問し、水俣病がもたらした影響を直に学びます。また、当事者の人々の講話を通じて、被害者たちがどのように苦しみと向き合い、未来を見据えているのかを考えます。

つきましては、大変ご多用中に恐縮ですが、啓発担当者様をはじめ貴団体の皆様にお知らせいただき、多数のご参加をお願いいたします。

なお、参加者については、9月2日（月）から受付を開始しますので、事務局へご連絡（ファックス又はメール）下さいますようお願い申し上げます。

記

1日 時 令和6年11月24日（日）午前8時～午後5時30分頃

熊本市民会館 午前8時

（午前7時45分から受付を開始します）

2研修地 水俣病歴史考証館、百間排水口、水俣病公式確認の漁村

3内 容 水俣病現地視察研修（バスツアー）貸切バスにて移動します。参加費は無料です。

＜午前＞ 百間排水口、水俣病公式確認の漁村・・・フィールドワーク

＜午後＞ 水俣病歴史考証館・・・見学、語り部講話

4募集人員 15名程度（うち車椅子使用2名まで） ※先着順

5申込方法 下記の事務局までFAX又はメールでお知らせ下さい

6その他 弁当、飲料水は各自持参してください。

当日は、歩きやすい靴・服装でご参加ください。

熊本市人権啓発市民協議会事務局

担当：相馬・酒井

T E L：096-328-2333

F A X：096-324-2105

E-MAIL：jinken@city.kumamoto.lg.jp

11月24日（日）開催 水俣病現地研修会参加申込書

下記、必要事項をご記入のうえ令和6年9月30日（月）まで

熊本市人権啓発市民協議会事務局へFAXでお送り下さい。（メールでも申込みできます。）

申込日：令和6年 月 日

参加される方全員 のお名前を記入し てください。	氏 名	年 齢	連絡先（電話番号）	車椅子利用の有無
			住所 電話	有 ・ 無
			住所 電話	有 ・ 無
			住所 電話	有 ・ 無
			住所 電話	有 ・ 無
			住所 電話	有 ・ 無

問い合わせ先

熊本市人権啓発市民協議会事務局（熊本市役所人権政策課内）

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

TEL: 096-328-2333（9時～17時） FAX: 096-324-2105

MEIL: jinken@city.kumamoto.jp